

若手クラブ仕事人の夢メッセージ

服部光志さん

1. 服部さんの自己紹介

岐阜県山県市の「NPO 法人たかとみスポーツクラブ」に勤めている服部光志（31 歳）さん。バレーボールでは一目おかれる存在で、高校時代はインターハイ、国体などに出場し、大学時代は順天堂大学の一員でインカレやリーグ戦で活躍しました。

以前、岐阜県体育協会に勤務し、そこで出会った人達との繋がりがクラブに関わるきっかけとなりました。当時、地元のスポーツクラブが NPO 法人を取得し、事務局職員を募集しているという情報をもらい、自分自身、県体協で学んだことやスポーツに関わることができるとして思っていたので、迷いなく手をあげました。また、バレーボールが盛んな地域で個人的にもバレーボールをするので、夢を持って仕事を楽しめる職場だと感じました。

クラブでの仕事内容は、施設管理（主に体育館管理）です。その他にスポーツクラブの教室の手伝いから、トレーニング講習☆草刈り☆グラウンド整備☆地元中学生や、施設利用者・地域の方々とのコミュニケーション☆…に、日々奮闘中です。



2. 「生の声」を聞き会話を楽しむことが自分を成長させている

クラブ（体育館）に来る人は、何かを求めて訪れます。施設の予約、運動不足解消、趣味を楽しむ、ダイエット、怪我のリハビリ、気分転換など、人それぞれの目的があり、「何かのきっかけ」を求めていると思います。

一番気をつけていることは「相手は何を望んでいるのか？自分がどうあるべきか？」を窓口で意識して接客しています。その中で苦情もあり、要望もあり、悩みもあり…と、現場の「生の声」を直接聞きながら会話を楽しむことが自分を成長させていると感じました。

自分自身が未熟なので今はよくわかりませんが、体育館は「**ドラマが生まれる場所・ドラマを作る場所**」、そんな場所で働く自分は「**電車の駅員さん**」みたいなものかな…と思いました。☆
こんなことを考えて仕事をしています。

3. 現場で働く人が楽しくなきゃ現場に来る人も楽しくない

体育館の窓口に来たお客さんは、役職問わず一律で体育館（スポーツクラブ）の人として見ています。だから…座右の銘として大切にしている言葉があります。

「現場で働く人が楽しくなきゃ現場に来る人も楽しくない」

「仕事・スポーツ・人との付き合いをつまらなくしているのも自分・面白く変えるのも自分」

県体協時代に愛読していた「21世紀のスポーツ指導者～望ましいスポーツ指導者とは～」の中に『パトロール(PATROL)』という言葉があります。僕の好きな言葉の一つです。

Process : 「結果ではなく、経過を重視しましょう」

Acknowledgment : 「承認しましょう」

Together : 「一緒に楽しみ、一緒に考えましょう」

Respect : 「尊敬しましょう、尊重しましょう」

Observation : 「よく観察しましょう」

Listening : 「話をよく聴きましょう」

仕事面でも共感しますし、バレーボール教室やスポーツ教室の時にも大いに役立てています。

4. 一日一日に感謝をして仕事・スポーツをする喜びとその後のご褒美を楽しむ

最近の好きな本では、「あなたの夢がかないますように」（ダイヤモンド社、2009年11月）、作者は浅見帆帆子さんの本です。一部引用して…。

『あなたが人を利用しようとすれば、まわりにもあなたを利用しようとする人が集まる

あなたがまわりを優しい目で眺めれば、あなたのことも優しい目で見てくれる人が現れる

まわりの成功を心から喜んでいけば、あなたの夢を応援してくれる人が現れる』

まわりにいる人は、自分の鏡。「こんな人と知り合いたい」と思ったら、そういう人に自分がなればいい。出会いたい人に出会う、実はすごく簡単なこと。

ボランティア精神・サービス精神の「善意の心」を持って取り組むことの大切さを感じています。スポーツ指導者の大半はボランティアで指導しています。営利を目的として指導に携わると、視野が狭くなるような経験もしました。

皆さんにも経験ないですか？

大事なのは自分に余裕を持って、長い目で物事を見極める。「先を見る」「将来構想（ビジョン）」を立てて反省したり話し合ったりすることは、スポーツクラブが会員や市民のために存在していくために大切な取り組みの一つだと思います。

なりたい自分・スポーツクラブが未来に繋がるためには、いろいろな人達と出会い、人と人の絆と繋がりがクラブを支える原動力となります。一日一日に感謝をして仕事・スポーツをする喜びとその後のご褒美を楽しむことが、僕の一日の楽しみになっています（笑）。

5. 今後したいこと、将来の夢

勤めている山県市総合体育館は、幼い子どもからお年寄りの方まで様々な人達が訪れます。スポーツをした後の笑顔は輝いています。そんなひとり一人の笑顔を大切に、これからも、魅力ある居場所にしたいと思えますし、自分も輝いていたいと思えます。

この体育館は、平成24年の「ぎふ清流国体」では少年男子バレーボール競技の会場になります。

スポーツクラブのバレーボール教室に来ている子どもが、地元国体選手として活躍してくれることを楽しみにしています。また、24年の国体の時に自分は何ができるのか、楽しみにしています。



最後になりましたが、今までの人生で学んできた事・出会えた人達や職場の皆さんに感謝して、『日本一元気な体育館のお兄さん*おっちゃん』を目指していきたいと思えます。

●取材してみた感想

服部さんは総合型クラブに関わってから、今までバレーをやってきたことが実はやらせていただいていたのだと、選手として気づけなかったことがわかった、と話して見えました。今でも選手としても活動していますが、きっと一回り大きな選手になったのではないかと思います。

（岸田美也子 岐阜県クラブ育成アドバイザー）

【NPO法人たかとみスポーツクラブ・プロフィール】

1. 設立

設立年：平成12年

経緯：いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも気軽に参加できるスポーツ環境」をつくるために設立

2. 地域

人口：山縣市人口30,000 人

特徴：農山村都市

3. クラブ

会員数：1,314名

特徴：指定管理者として、現在、4つの施設を運営管理している

予算規模：5,400 万円

(指定管理2,985 万円、部活指導60 万円、クラブ補助500 万円、事業収入1,200万円)

4. 連絡先

〒501-2113 岐阜県山縣市高木1675番地

TEL：0581-23-0330 FAX：0581-23-0331

Email：tsc@ccy.ne.jp

URL：<http://homepage2.nifty.com/tsc/>

関連リンク:岸田美也子氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/24.html>